



令和元年度幼稚園の人材確保支援事業

(公財)広島県私立幼稚園連盟

めざす姿

今年度の取組

主な実績

離職防止・定着促進
(働き方改革)

園運営の在り方研修会の開催

平成30年度に実施した「働き方改革研究」の成果を基に、働きやすい職場環境づくりを進めていくため、園の雰囲気、人間関係に特化した「園運営の在り方研修会」を開催し、ファシリテーション・スキルを学んだ。

- 研修会 1回4時間×5回
- 研修テーマ 自ら学びともに育ち合う、主体的・対話的なチームづくり「ファシリテーション・リーダーシップ」
- 発表 2月4日 設置者・園長研修会

- 研修の時間設定、グループ編成は、講師と協議のうえ、成果が出るよう決定した。⇒ 本音での協議が重要。
- 参加園は自園での実践に取り掛かっており、成果が期待できる。⇒ 誰もが意見の言える環境整備が必要。
- 一方、未参加園に対するアプローチが課題。

今後に向けて

ブースによる魅力発信は参加者アンケート結果からも効果的な方法であると考え、参加園の増加に向けては、園がブース出展を負担に感じないような方策等を検討する。参加学生に対しては、ブース訪問をしやすい方策も検討していき、また、認知度が高まっている就職アドバイザーによる支援に力を入れ、求職者に積極的にアプローチし、マッチングの増加を目指すこととする。さらに、行政との連携による事業展開を行い、幼稚園等の人材確保に寄与するとともに、教育・保育の質の向上に努める。特に、処遇改善を推進し、教職員の離職防止・定着促進を図るためには、労務環境改善が重要と考え、幼稚園の労務環境を整備するための事業を実施する。

平成29、30年度と文部科学省の委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」の採択を受け、マッチング体制の構築、幼稚園等の魅力を発信するイベント（幼稚園・認定こども園ナビゲーション）の開催、離職者への再就職に向けた情報提供を実施するとともに、現役教諭・養成校の学生に対して働き方に関する調査を実施した。2年間の取組から明らかとなった課題に対応するため、今年度は、事業の更なる改善と「働き方改革研究会」からの提言を基に、さらに働きやすい職場環境づくりに向け、「園運営の在り方」に特化し研究を深めることとし、県内の私立幼稚園・認定こども園での離職防止・定着促進を図り、幼稚園等の人材確保に寄与した。

新規採用の促進・離職者の再就職促進

YNナビの開催

県内2会場で実施

区分	参加園		来場者	
	目標	実績	目標	実績
西部	62園	60園	477人	356人
東部	32園	29園	122人	118人

事業実施による成果及び課題

- 参加園、来場者ともに目標未達成 ⇒ 園の魅力などをどのように学生等に情報発信していくか検討が必要。
- 西部会場では高校生の参加あり ⇒ 幼稚園の魅力発信につながる。
- ナビに参加しても、ブースで聞きたいことが分からない学生のために、会場で就職アドバイザーによるセミナーを実施。⇒ 東部会場では参加者全員がブース訪問。
- 養成校との意見交換会の実施 ⇒ 幼稚園の魅力発信としては必要。

無料職業紹介事業の実施

登録・マッチング状況（3月末現在）（件）

マッチング	求人	求職	紹介
7	59	207	67

就職アドバイザー等による支援

- 求人側 166件 ○ 求職側 210件
- 園訪問による支援 12園

就職アドバイザー支援による成果及び課題

- 新規登録者に電話で現在の状況と意向確認を行うことで紹介件数が増加。
- 園訪問のメリットは、園の雰囲気や先生方の様子などを観察した上で、アドバイスが行える点。
- アドバイザーの助言をその場にいる者全員が聞くことができる。

求人・求職システムの改善

- 園訪問等により、システムの活用が浸透しつつある。利用者、管理者双方にとって活用しやすいシステムの構築を目指す必要がある。

必要な教員が確保され、人材の定着により経験が深まることによる質の高い教育・保育サービスの提供